資料1

令和６年度進行管理・評価シート
和歌山市歴史的風致維持向上計画（平成３０年３月２６日認定）

（最終変更令和７年３月３１日）

□進捗評価シート（様式1）

①組織体制（様式１－１）
1 歴史的風致維持向上計画の実施体制 ・・・・・・・・・ 1

②重点区域における良好な景観を形成する施策（様式１－２）
1 都市計画 ・・・・・・・・・ 2
2 和歌山市景観計画 ・・・・・・・・・ 3、4
3 和歌山市屋外広告物条例 ・・・・・・・・・ 5

③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項（様式１－３）
1 紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化 ・・・・・・・・・ 6
2 玉津島神社境内修景整備 ・・・・・・・・・ 7
3 文化財の保存・修復と活用 ・・・・・・・・・ 8
4 歴史的風致形成建造物保全活用事業 ・・・・・・・・・ 9
5 市域の文化財調査 ・・・・・・・・・ 10
6 歴史的建造物等の公開・活用 ・・・・・・・・・ 11
7 和歌山城の整備・活用 ・・・・・・・・・ 12
8 歴史的風致維持向上支援法人への活動支援 ・・・・・・・・・ 13
9 次世代の担い手育成事業 ・・・・・・・・・ 14
10 歴史・文化に関する意識醸成・担い手拡大のソフト事業 ・・・・・・・・・ 15
11 歴史・文化に着目したまちづくり支援事業 ・・・・・・・・・ 16
13 無形民俗文化財の継承 ・・・・・・・・・ 17
16 無電柱化の推進（和歌浦口雑賀崎線） ・・・・・・・・・ 18
17 道路美装化・修景の推進 ・・・・・・・・・ 19
18 公園整備（御手洗池公園、沖見の里公園） ・・・・・・・・・ 20
19 遊歩道整備（和歌浦、高津子山、浪早崎） ・・・・・・・・・ 21
23 「和歌の浦」ガイダンス施設整備 ・・・・・・・・・ 22
24 博物館歴史展示・講座の実施 ・・・・・・・・・ 23
25 和歌の浦の文化財説明板・まち歩き案内板設置 ・・・・・・・・・ 24
27 歴史・文化のプロモーション事業 ・・・・・・・・・ 25
28 遺跡の普及・啓発 ・・・・・・・・・ 26

④文化財の保存又は活用に関する事項（様式１－４）
1 文化財の保存に関する取り組み ・・・・・・・・・ 27
2 文化財の活用に関する取り組み ・・・・・・・・・ 28
3 埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み ・・・・・・・・・ 29

⑤効果・影響等に関する報道（様式１－５）
1 和歌山市の歴史まちづくりに関する報道 ・・・・・・・・・ 30

⑥その他（効果等）（様式１－６）
1 歴史的風致の情報発信と認識向上 ・・・・・・・・・ 31

□法定協議会等におけるコメントシート（様式2） ・・・・・・・・・ 32

進捗評価シート　　（様式1-1）

評価軸1-1
組織体制

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史的風致維持向上計画の実施体制	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	本計画の推進体制については、都市再生課と文化振興課を事務局とした庁内推進体制を設置するとともに、歴史まちづくり法第11条の規定に基づく「和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会」において計画の推進や変更等の連絡・調整・協議等を行い、事業の推進を図る。 また、必要に応じて、本市の都市計画や景観、文化財保護等に関する審議会、並びに文化財や歴史的建造物の所有者等と連絡調整を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

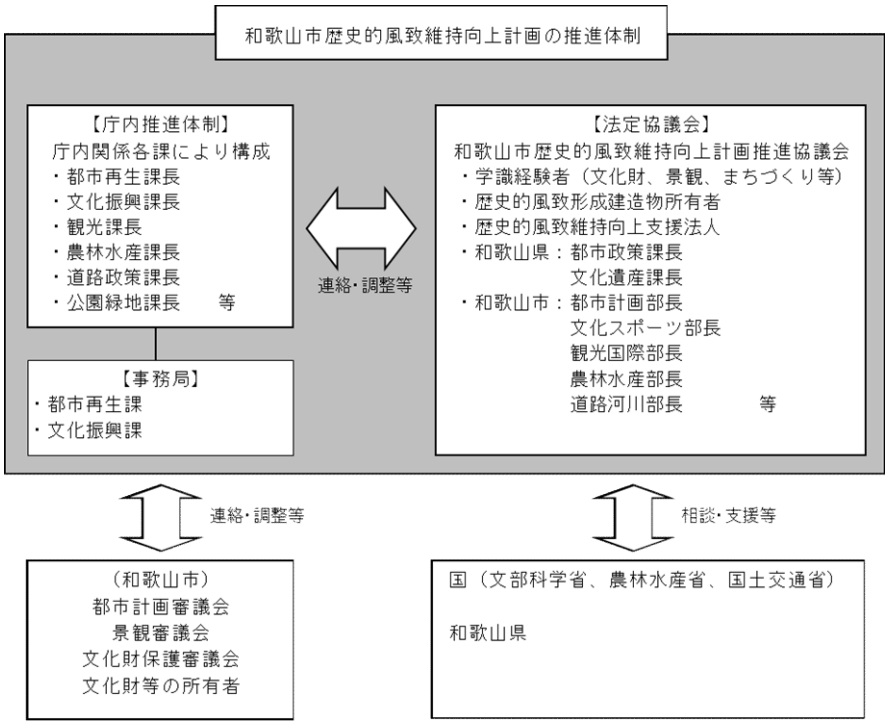
学識経験者、歴史的風致形成建造物所有者、歴史的風致維持向上支援法人、行政機関で構成する和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会等を開催し、計画推進に関しての連絡調整や意見を聞くことができた。
●和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会　：　2回開催
●和歌山市歴史的風致維持向上計画推進庁内委員会　：　2回開催
●和歌山市文化財保護審議会への意見聴取　：　1回開催

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

第１０回　和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会
開催日：令和６年９月１０日
議　題：
（１）令和6年度事業の実施状況について
（２）令和7年度予定事業について

第１１回　和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会
開催日：令和７年２月７日
議　題：令和６年度進行管理・評価について



進捗評価シート　　（様式1-2）

評価軸2-1
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
都市計画	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	本市は市域全域が都市計画区域になっており、重点区域は、市街化区域と市街化調整区域にまたがっている。 また、都市の風致を維持するために、優れた景勝地、樹林地、水辺地等の自然環境やこれら自然環境と調和した良好な住環境が形成されている地区の維持を目的に風致地区を指定しており、「和歌浦風致地区」「新和歌浦雑賀崎風致地区」の2地区を指定している。 引き続きこれらの地域地区等を運用し、良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

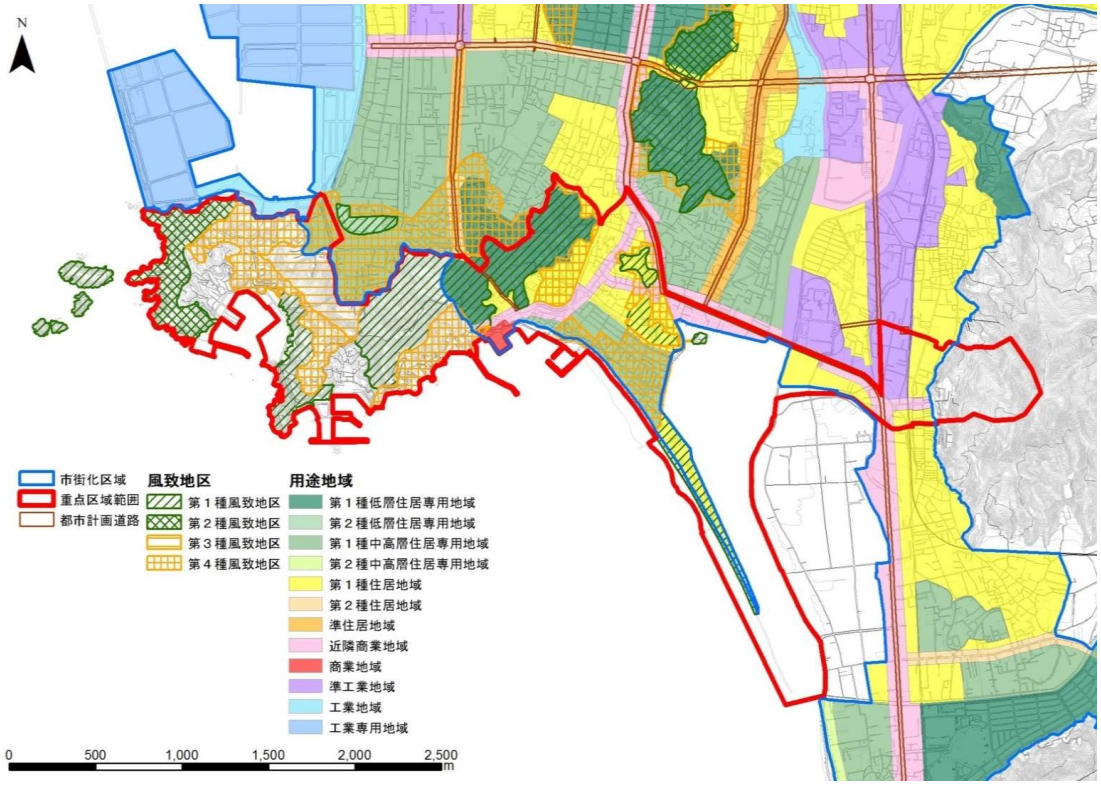
風致地区は、都市の風致を維持するために、優れた景勝地、樹林地、水辺地などの自然環境やこれら自然環境と調和した良好な住環境が形成されている地区の維持を目的に、都市計画法により定められている。

令和6年度　風致地区内行為許可件数　和歌浦風致地区　：　5件
　　新和歌浦雑賀崎風致地区　：　5件

許可制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成26年4月1日に「和歌山市風致地区内における建築等の規制に関する条例」を施行した。条例に基づき、風致地区内における建築等の規制をし、良好な景観形成を推進する。

状況を示す写真や資料等



都市計画総括図と重点区域の範囲

進捗評価シート　　（様式1-2）

評価軸2-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
和歌山市景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手

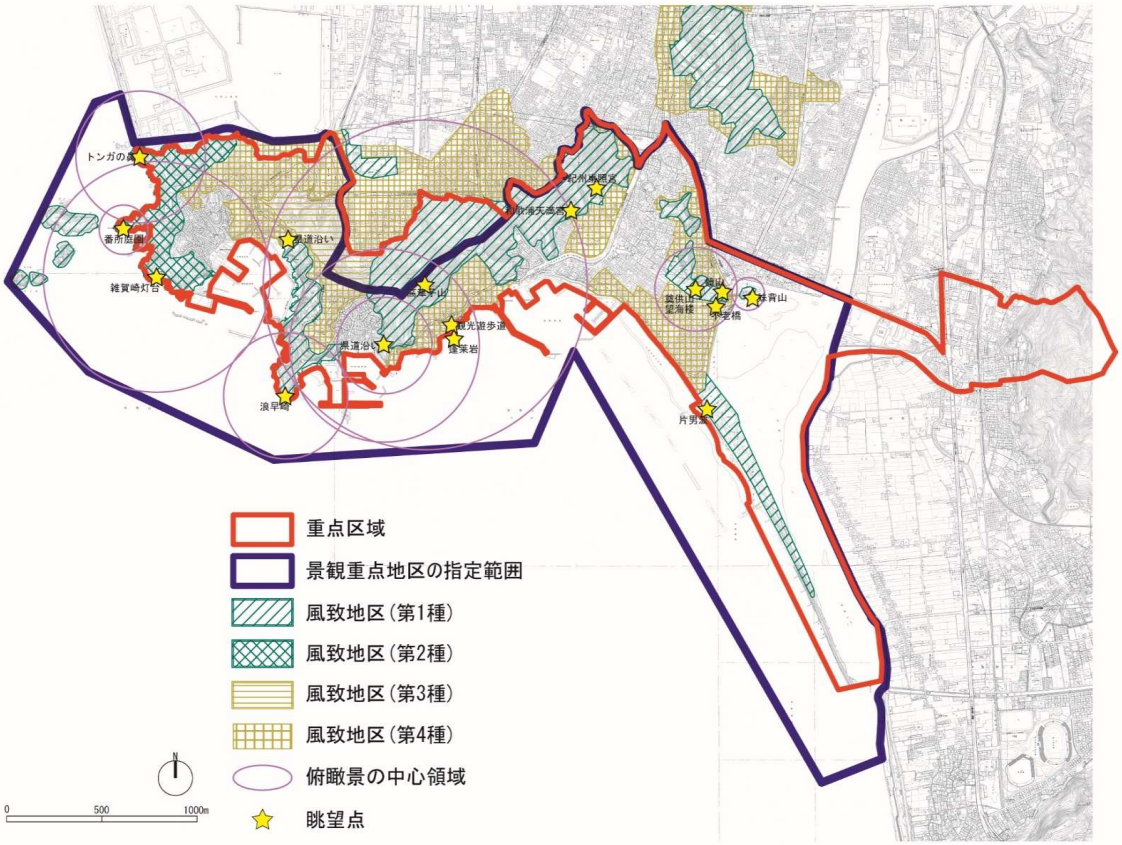
計画に記載している内容	和歌山市景観計画により、市域全域を景観計画区域と定め、良好な景観の形成に関する方針や建築物等の行為の制限に関する事項等を定めている。 その上で、市を象徴する景観として市民の関心も高く、市の顔となる景観上重要な地区を景観計画における「景観重点地区」として、規制誘導方策等を含めた積極的な景観形成を図っており、その一つとして「和歌の浦景観重点地区」を指定し、地区固有の景観の特性に即した景観形成の目標及び方針、さらにはきめ細かな建築物等の行為の制限に関する事項を定めている。 これらはいずれも本計画の重点区域内に位置していることから、引き続き「景観重点地区」として、行為の制限による良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

和歌の浦景観重点地区は、湾・島しょといった独特の地形・自然の中で、人々の営みが調和して創り育ててきた眺望景観を未来に継承することを目標としている。
令和6年度　景観計画区域内における行為の届出件数　和歌の浦景観重点地区　：　4件
和歌山城周辺景観重点地区　：　5件
届出制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成23年に和歌山市景観条例を制定、和歌山市景観計画を策定した。一定規模以上の建築行為や開発行為などを行う際、届出が必要であり、景観計画に定められた景観形成基準に適合する必要がある。

状況を示す写真や資料等



和歌の浦景観重点地区区域図

進捗評価シート　　（様式1-2）

評価軸2-2
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
和歌山市景観計画	□実施済 ■実施中 □未着手

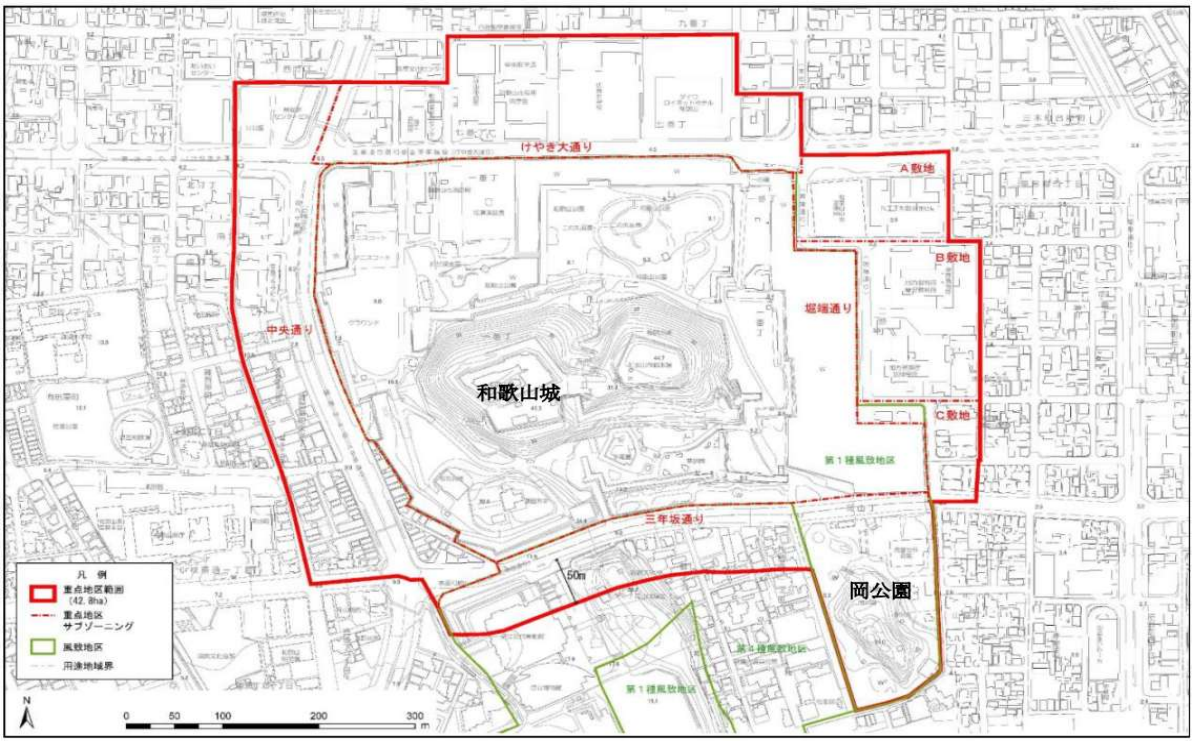
計画に記載している内容	和歌山市景観計画により、市域全域を景観計画区域と定め、良好な景観の形成に関する方針や建築物等の行為の制限に関する事項等を定めている。 その上で、市を象徴する景観として市民の関心も高く、市の顔となる景観上重要な地区を景観計画における「景観重点地区」として、規制誘導方策等を含めた積極的な景観形成を図っており、その一つとして「和歌の浦景観重点地区」を指定し、地区固有の景観の特性に即した景観形成の目標及び方針、さらにはきめ細かな建築物等の行為の制限に関する事項を定めている。 これらはいずれも本計画の重点区域内に位置していることから、引き続き「景観重点地区」として、行為の制限による良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

和歌の浦景観重点地区は、湾・島しょといった独特の地形・自然の中で、人々の営みが調和して創り育ててきた眺望景観を未来に継承することを目標としている。
令和6年度　景観計画区域内における行為の届出件数　和歌の浦景観重点地区　：　4件
和歌山城周辺景観重点地区　：　5件
届出制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	平成23年に和歌山市景観条例を制定、和歌山市景観計画を策定した。一定規模以上の建築行為や開発行為などを行う際、届出が必要であり、景観計画に定められた景観形成基準に適合する必要がある。

状況を示す写真や資料等



和歌山城周辺景観重点地区区域図

進捗評価シート　（様式1-2）

評価軸2-3
重点区域における良好な景観を形成する施策

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
和歌山市屋外広告物条例	□実施済 ■実施中 □未着手

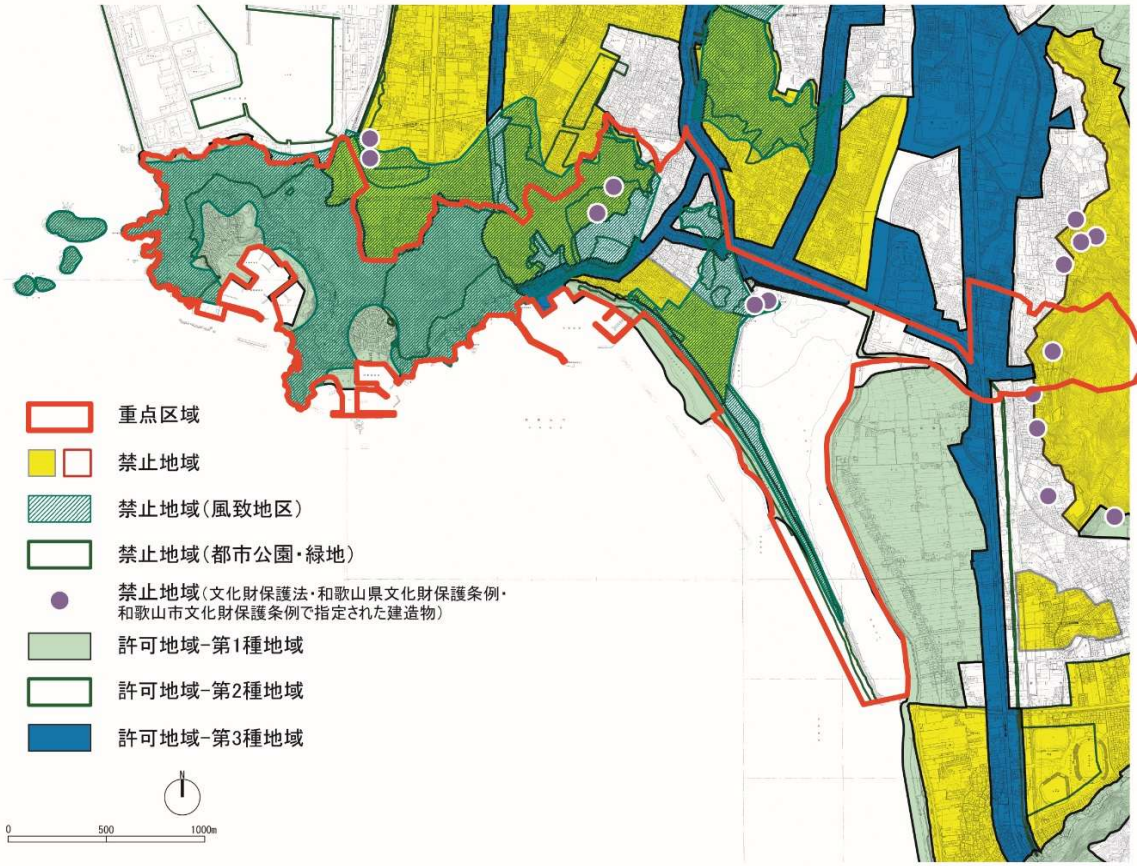
計画に記載している内容	和歌山市屋外広告物条例により、市域全域を対象として運用を図っており、掲出区域に関する規制（許可地域、禁止地域の設定）と、掲出物件に関する規制を行っている。 重点区域のうち、和歌浦・田野・雑賀崎においては、大半が風致地区の指定によって同条例の禁止地域に指定されており、良好な景観を形成し又は風致を維持するために、広告物の表示又は掲出物件の設置を禁止している。また、紀三井寺及びその周辺の区域についても大半が禁止地域に指定されている。 これらの屋外広告物の誘導の取り組みを継続し、良好な景観形成を推進するものとする。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

屋外広告物を掲出する場合には、一部の適用除外広告物を除き、あらかじめ、許可を受ける必要がある。
令和6年度　屋外広告物許可件数　：　31件
許可制度により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	屋外広告物及び屋外広告業について必要な規制を行い、もって良好な景観を形成し、若しくは風致を維持し、又は公衆に対する危害を防止することを目的として、平成8年12月に和歌山市屋外広告物条例を制定した。

状況を示す写真や資料等



屋外広告物条例指定区域図

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-1
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
紀州東照宮境内修景整備・建造物美装化	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	美しい日本探訪のための文化財建造物魅力向上促進事業 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 史跡等総合活用整備事業
計画に記載している内容	重点区域の重要な文化財である紀州東照宮の境内において、東照宮創建400周年（2021年）に向けて、文化財建造物の美装化を行い、修景整備（経年劣化が進む石橋、石階段、参道の修繕及び機能改善や神輿舎の改修（和歌祭の神輿や衣装の展示、公開活用）、燈籠の修繕等）を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金事業：拝殿瑞垣から続く石垣の修理

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	拝殿瑞垣から続く石垣の修理を令和6年度から実施。

状況を示す写真や資料等

石積崩落部　東端よりおよそ3m位置

石積の孕み出しの状況　崩落部と同じ上から2、3個目の孕み出しが巾5mにわたり発生している。

瑞垣(重要文化財)基礎部分　現状で孕み出しは認められないが、一連で裏込めが不安定となっている可能性がある。

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸3-2
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
玉津島神社境内修景整備	□実施済 ■実施中 □未着手

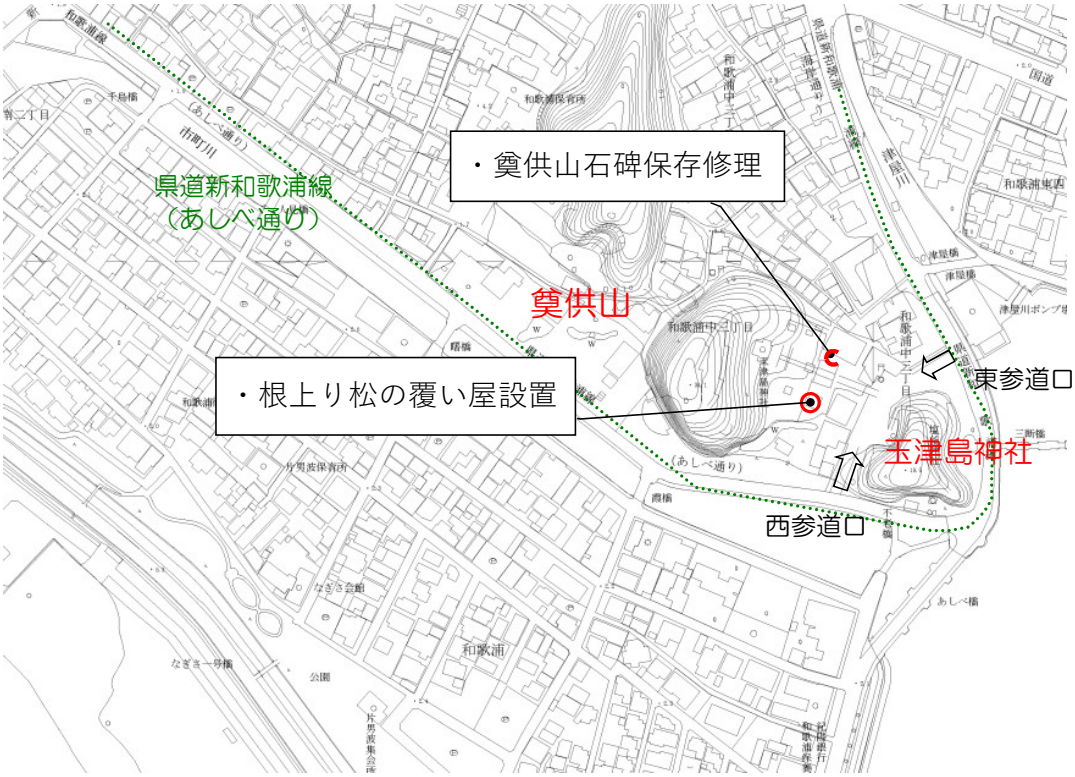
事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金事業
計画に記載している内容	重点区域の重要な文化財である玉津島神社の境内において、修景整備（玉津島神社の鳥居の復元、電線の地中化、参道整備等）を実施する。あわせて、奠供山への進入路や眺望を楽しめる広場の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度修景整備事業　：根上り松の風よけ設置
令和6年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金事業：奠供山石碑保存修理事業

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	今後も整備等については文化庁および県の担当部局との調整を密にする必要がある。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等



進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸3-3
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の保存・修復と活用	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	重要文化財修理、防災事業 史跡等総合活用整備事業 県文化財保護費補助事業 社会資本整備総合交付金 市単独事業
計画に記載している内容	長年の風雨等により劣化、破損が見られる指定文化財等の適切な保存修復を図り整備を行う。特に、屋外の文化財建造物は劣化が著しいため、保存処理を行ったうえで、活用を図る。 その際、文化財建造物の整備・修復過程など文化財の通常見られない面も公開に努めるとともに、整備後の維持管理や活用についても市民や関連団体等の協力を得られるよう働きかける。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

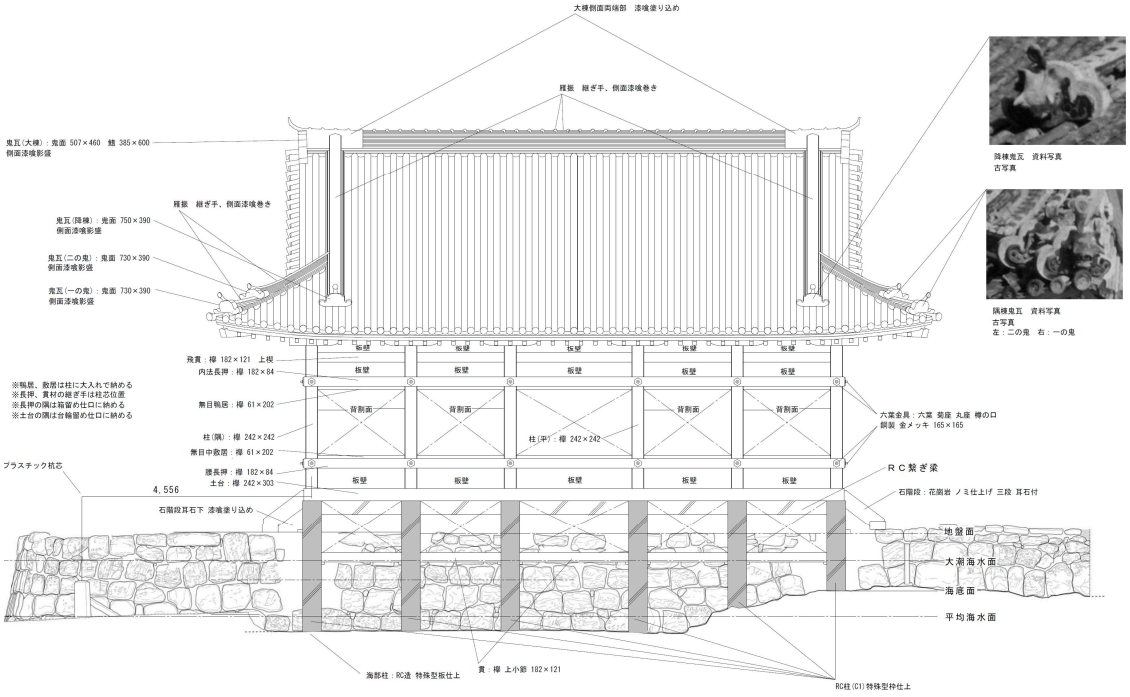
令和6年度国宝重要文化財等保存・活用事業費補助金事業：4件
観海閣については平成30年度の台風で大きな被害を受けたことから、県が木造による建て替えを国庫補助事業で実施中である。妹背山内の芦辺屋別荘については、所有者が国庫補助事業で保存・修復を実施中である。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	指定文化財の現状変更や周辺整備事業との調整が必要であるため、関係諸機関と協議の上、進めていく。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

← 観海閣　現況写真
（新築工事着手前）

↓ 観海閣　東立面図



評価軸3-4
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史的風致形成建造物保全活用事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業）
計画に記載している内容	文化財指定を受けていないものの歴史的な価値を有し、重点区域における歴史的風致を形成している建造物については、歴史的風致形成建造物に指定のうえ保全、活用を図る。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

歴史的風致を形成している未指定文化財に本年度は、自然災害等による被害がなかったことから、事業実績なし。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	当初、整備計画がないものでも、災害等で文化財が突発的に被害を受け、修復が必要となる場合があるため、迅速に復旧に対応していく。

状況を示す写真や資料等

評価軸3-5
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
市域の文化財調査	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 埋蔵文化財緊急調査事業
計画に記載している内容	市域には、歴史的価値がありながら文化財指定に至っていない建造物・民俗文化財・美術工芸品等が多数存在するため、それらを調査把握し、文化財指定や登録の候補を選定するとともに、未指定文化財を含めて市域の歴史遺産全体として普及啓発を行っていく。 また、通常は地下に埋蔵されて実態が目に見えない埋蔵文化財（遺跡）については、確認調査により遺跡の実態を把握し、開発等から保護するための資料を作成する。 合わせて、和歌道・御成道、熊野古道、葛城修験の道をはじめとした歴史の道についても、その重要性を明らかにし、共有していくため、文献や古地図等の歴史資料を基に調査究明する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度埋蔵文化財の調査：立会調査62件　確認調査・本発掘調査28件（令和7年3月31日更新予定）
令和6年度社寺文化財調査　：5件（感應寺ほか）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	埋蔵文化財の調査については開発に伴う調査はおおむね順調に行われているが、史跡和歌山城を除くと計画的な調査はほとんど行われておらず、特に将来的に史跡になる可能性のあるものについても、今後調査を実施していく必要がある。 未指定文化財の調査に関しては文化財の盗難防止としての社寺調査を実施しているが、継続的な調査協力を得るためための体制を作る必要がある。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

史跡和歌山城発掘調査状況

感應寺調査風景

評価軸3-6
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史的建造物等の公開・活用	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成18年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	重要文化財の建造物（旧中筋家住宅）を維持管理しながら、地域住民や来訪者等に公開し、長唄・三味線、琴の演奏会や茶道体験等の公開事業を実施する。 和歌山の歴史的建造物の映像記録の上映会を開催し、普及啓発を行う。 養翠園内に移築された湊御殿の維持管理をしながら、公開・活用する。 岡公園に移築された江戸時代の武家屋敷である旧大村家長屋門を公開・活用する（平成29年度～）。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

旧中筋家住宅公開事業：観覧者数900人（令和5年度：974人）、行事件数10件（令和5年度：10件）
湊御殿公開事業：観覧者数2,910人（令和5年度：3,639人）
＊令和7年3月31に日更新予定

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	公開活用の促進のため、地域や文化関係の団体等との連携を進めていく。 新型コロナ収束後の公開・活用のあり方を検討する必要がある。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

中筋家寄席のようす

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-7
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
和歌山城の整備・活用	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和8年度
支援事業名	史跡等総合活用整備事業 市単独事業
計画に記載している内容	構造物の修繕や植栽の管理等、史跡の適切な維持管理、公開・活用を行う。 段階的な整備計画に基づき、短期的な整備事業として、老朽化が進む建造物等を補修しながら、二の丸西部・西の丸を一体的に整備し、大名の生活文化を体感できる見所の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

扇の芝の整備について、現在229画地、3,497.51㎡（市道部分を含む）を史跡として追加指定を受け、19,740.48㎡を公有化済。
史跡和歌山城樹木管理計画に基づき、城内の植栽整備を進めている。
史跡和歌山城の「二の丸・西の丸整備基本計画」について、現在策定作業を進めている。
和歌山城天守閣・わかやま歴史館でそれぞれ企画展・常設展を展開し、年間入館者数は、それぞれ169,259人、23,479人。
＊令和7年3月31日更新予定

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	整備計画に則り、二の丸・西の丸の整備を進める。遺構等の表示、展示の方法等について、新型コロナ収束後の観光活用等の検討を要す。 新型コロナの影響で、入館者数が減少しており、施設のあり方について検討を要す。 史跡和歌山城保存整備委員会にて審議済み。

状況を示す写真や資料等

わかやま歴史館・天守閣夏の企画展示
歴史館展示風景

和歌山城現地説明会

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-8
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史的風致維持向上支援法人への活動支援	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	歴史・文化に携わる活動団体を歴史的風致維持向上支援法人に指定し、伝統文化の継承、施設の管理運営、市民及び行政との協働による情報発信等の各種事業に対する助成を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

歴史的風致維持向上支援法人NPO法人和歌の浦自然・歴史・文化支援機構が、歴史文化遺産と環境を守る清掃活動60回（和歌浦48回）を開催するにあたり、清掃活動費等を補助支援することで、良好な景観の保全を推進することができた。
また、和歌の浦ガイダンス施設である「和歌の浦あしべ庵」が今年9月にオープンした際は、NPO法人和歌の浦自然・歴史・文化支援機構が主催で行った和歌の浦の活性化に資するイベントに対して補助支援をすることで、和歌の浦一帯を盛り上げる各種イベントを開催するきっかけになった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	歴史的風致維持向上支援法人が継続的に活動できるよう支援を続けていく必要がある。

状況を示す写真や資料等

片男波の清掃活動

和歌の浦あしべ庵オープン記念イベントの様子

評価軸3-9
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
次世代の担い手育成事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業） 伝統文化親子教室事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（平成30年度～令和元年度）
計画に記載している内容	伝統文化・民俗芸能を普及・啓発させていくために、その担い手として重要な次世代の子どもたちを対象とした事業を重点的に展開する。 市内の小中学生等を対象に、本計画策定を契機とした歴史まちづくりに関連するパンフレット（副読本）の製作・配布を行うとともに、各学校や教育委員会と連携して講師を招いた授業等を実施する。 市内の歴史的風致維持・向上を担う活動団体（和歌祭保存会、団七踊保存会、木ノ本獅子舞保存会）等と連携し、子どもたちと民俗芸能の内容・歴史等を学ぶワークショップ等を実施する。 子どもたちが、親とともに伝統文化・民俗芸能に親しみ、修得できるよう親子教室を開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

和歌山市内の小・中学校2校に、大谷古墳や車駕之古址古墳といった市内を代表する文化財についての出前授業を行った。子どもたちが和歌山市の歴史や文化に触れるきっかけとなったことで、将来担い手となることを期待する。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	定期的・継続的に歴史まちづくりに関する授業などを実施する。 伝統文化親子教室の活動により、民俗芸能の将来的な担い手を育成する。 博物館や文化振興課、和歌山城整備企画課による市内の小中学校への出前事業をおこない、地域の歴史に対する理解を深めてもらう。

状況を示す写真や資料等

市内の小・中学校授業「総合的な学習の時間」において、出前授業を実施
（今福小学校にて）

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-10
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史・文化に関する意識醸成・担い手拡大のソフト事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（平成30年度～令和元年度）
計画に記載している内容	伝統文化を普及・啓発させていくために、とりわけ一般市民を対象として活動団体等による情報発信、各種団体と連携したイベント、普及・啓発や人材育成のソフト事業を行う。 文化財等に関わる調査の蓄積や新たな調査結果について積極的に公開し、歴史研究団体等と連携して市民と専門家等が意見交換するようなイベントを実施する。 歴史的風致の維持向上に携わる市民や活動団体等と連携して、歴史的風致の情報交換・情報発信等を行うイベントを開催する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

市域の熊野古道の保存活用を推進するために沿道自治体関係者と本市文化財担当課、観光担当課が連携した「和歌山市熊野古道推進協議会」の協議会を実施している（令和6年度は開催せず）。世界遺産「紀伊山地の霊場」登録20周年（令和6年度）に伴い、熊野古道紀伊路のPR動画を作成した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	和歌山市立博物館や和歌浦の社寺建造物の修理を実施している（公財）和歌山県文化財センターと連携し、これらの機関に市民への文化財の普及啓発活動をより積極的に実施してもらう必要がある。

状況を示す写真や資料等

熊野古道紀伊路のPR動画の作成

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-11
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史・文化に着目したまちづくり支援事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）（平成30年度～令和元年度）
計画に記載している内容	これまで本市で取り組んできた景観まちづくりワークショップ等の取り組みも生かしながら、地域において歴史・文化等に着目したまちづくり活動を支援するため、ワークショップ等の取り組みを実施する。 各地域のまちづくりワークショップ等を通じて、歴史的風致の再発見、再認識を促すとともに、それらを生かした活動についての情報提供や支援を行う。 文化財保護活動や生業等の地域の活動団体による歴史・文化に着目した活動の支援を行う。

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度実績なし。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	各地区で活動している各種団体や住民同士が連携を図るきっかけをつくるとともに、伝統文化の担い手の輩出や歴史文化を生かしたまちづくり活動を促進していく。

状況を示す写真や資料等

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-13
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
無形民俗文化財の継承	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成20年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 文化遺産総合活用推進事業
計画に記載している内容	県指定、無形民俗文化財である木ノ本の獅子舞・団七踊について、保存会組織による無形民俗文化財の保持・継承事業に支援を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

木ノ本の獅子舞：木本八幡宮例祭（令和6年10月19日・20日）にて木ノ本の獅子舞保存会が披露した。
団七踊：岡崎西熊野神社にて岡崎団七踊り保存会による披露（令和6年8月14日）

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	参加者の減少傾向に対応するため、小学校等への普及啓発に努めていく。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

令和6年度　木ノ本の獅子舞

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-16
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
無電柱化の推進（和歌浦口雑賀崎線）	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	和歌祭の巡行経路である和歌浦口雑賀崎線において無電柱化と美装化を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

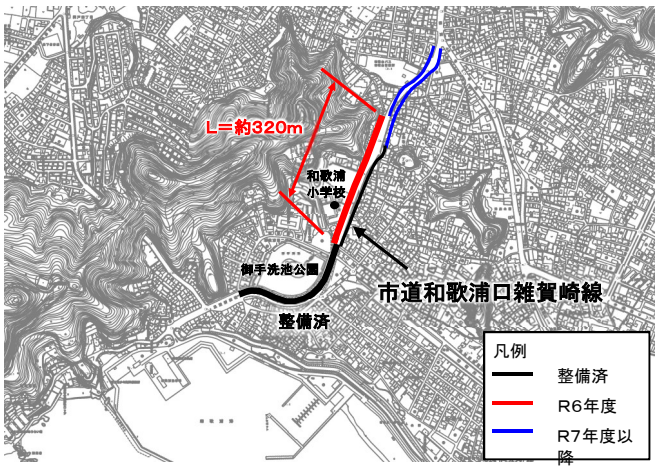
令和6年度電線共同溝工事区間（和歌浦小学校側L＝約320m）について、5月および9月に契約を行い、予定通り進捗している。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。 平成30年度街なみ調査（整備方針・事業計画策定）に基づき修景整備等を実施。

状況を示す写真や資料等

工事着手前

工事中



【スケジュール】

市道和歌浦口雑賀崎線

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-17
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
道路美装化・修景の推進	□実施済 ■実施中 □未着手

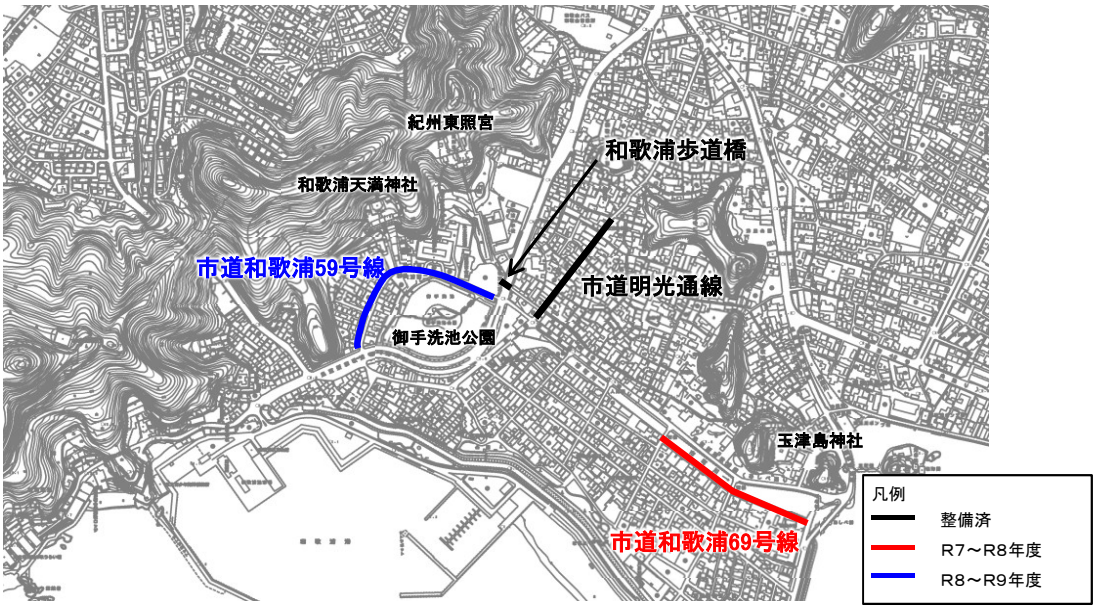
事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（街なみ環境整備事業） 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	重点区域の重要な文化財である紀州東照宮、御手洗池公園、和歌浦天満神社を結ぶルートである市道和歌浦59号線や、歴史的建造物である民家が点在し、地域住民の生活空間となっている市道明光通線等において、歴史的な街並みに調和した道路の美装化、修景（歩道橋の塗り替え）を進める。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度事業実績なし。

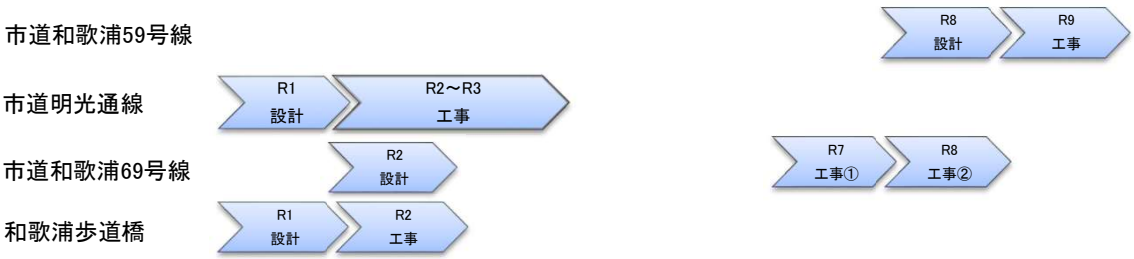
進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。 平成30年度街なみ調査（整備方針・事業計画策定）に基づき修景整備等を実施。

状況を示す写真や資料等



※地元から道路拡幅の要望があり、事業の全体的な方向性も含めて整備内容を再検討中

【スケジュール】



進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-18
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
公園整備（御手洗池公園、沖見の里公園）	□実施済 ■実施中 □未着手

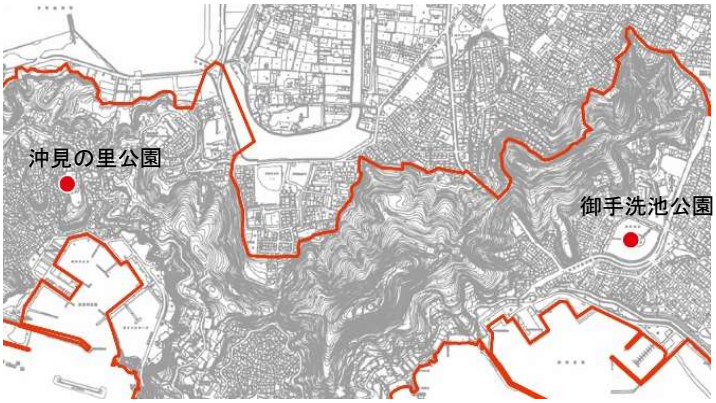
事業期間	令和元年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	紀州東照宮参詣者の禊ぎの場であり、和歌浦天満神社と紀州東照宮とを結ぶ回遊動線上重要な位置にある御手洗池公園の歴史・景観等に配慮した整備（護岸修繕による修景整備、遊歩道の整備、水質浄化施設設置）を行う。 漁業関係者が沖の様子を眺める場所であり、季節と潮の変わり目や天候の変化に敏感である漁業集落ならではの風習である「ハナフリ」という行事で、彼岸の中日に太陽が沈む際、夕陽の光が花びらのように散り輝くのを拝む沖見の里において、公園の整備（敷地造成、園路広場整備、サービス施設の整備等）を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度事業実績なし。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	御手洗池公園は、名勝和歌の浦（国指定文化財）の指定地内に存するため、各関係機関等と現状変更等について協議のうえ、推進する必要がある。 平成30年度街なみ調査（整備方針・事業計画策定）に基づき修景整備等を実施。

状況を示す写真や資料等



【スケジュール】

※前回の協議会での意見等を踏まえ、整備内容を検討中

御手洗池公園：R1 ～ R2 設計 → R8 工事① → R9 工事②

沖見の里公園：R1 ～ R2 設計 → R4 工事①

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-19
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
遊歩道整備（和歌浦、高津子山、浪早崎）	□実施済 ■実施中 □未着手

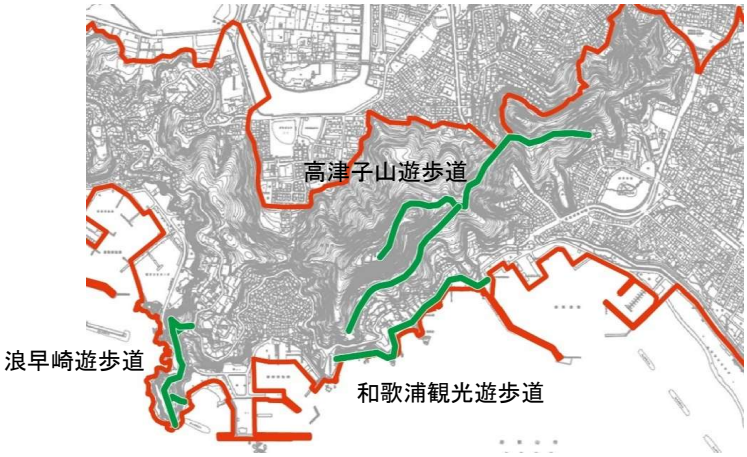
事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	○和歌浦観光遊歩道（約900m）：遊歩道に設置している防護柵を景観に配慮したものに変更する。加えて、遊歩道内に照明を設置し、夜間の視認性を上げるとともに、情緒のある雰囲気を演出し夜間の散策スポットとなるよう整備する。 ○高津子山遊歩道（約1,640m）：名草山や和歌浦湾などの良好な眺望景観が得られる場所として、高津子山への散策を促すため、地権者等との調整のもと、整備を行う。 ○浪早崎遊歩道（約500m）：道標や夜間の視認性を確保する街灯、風景を眺めながら休憩できるベンチを設置するなど、良好な眺望景観が望める場所として来訪者の散策を促すため、散策路の整備を行う。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度事業実績なし。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	地域住民や周辺の事業等と調整のうえ推進する必要がある。 平成30年度街なみ調査（整備方針・事業計画策定）に基づき修景整備等を実施。

状況を示す写真や資料等



和歌浦観光遊歩道

高津子山遊歩道

浪早崎遊歩道

【スケジュール】

和歌浦観光遊歩道　H30 設計①　R1 設計② 工事①　R3 工事②　R4 工事③

※ボランティア団体の活動との兼ね合いにより、整備内容再考。

高津子山遊歩道　R8 設計　R9 工事

浪早崎遊歩道　R8 設計　R9 工事

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-23
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
「和歌の浦」ガイダンス施設整備	■実施済 □実施中 □未着手

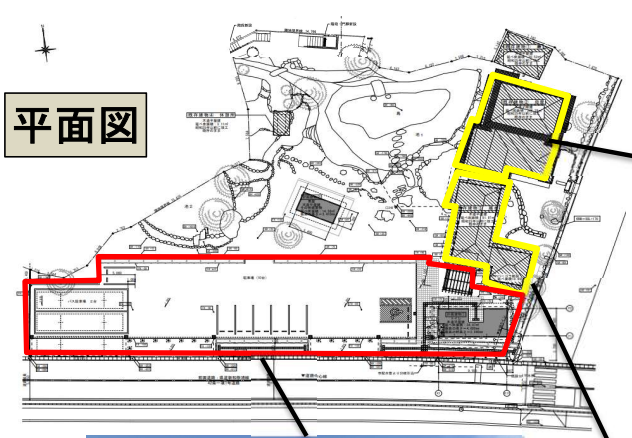
事業期間	平成30年度～令和6年度
支援事業名	市単独事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	重点区域における歴史的風致、日本遺産の価値やその成り立ち等を情報発信する施設や、様々な市民団体の交流・情報発信の場となるガイダンス施設と、来訪の起点となる駐車場を整備する。 ＜ガイダンス施設の導入機能（予定）＞ ・周辺の施設案内・和歌の浦内の資源、歴史的風致、日本遺産に関する情報展示（パネル、衣装、模型等）・住民や市民活動相互の交流・滞在・休憩

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和5年9月から母屋棟の屋根改修・外観修景工事を実施し、令和6年3月に完了。また、令和6年1月から離れ棟の耐震改修等工事を実施し、令和6年8月に完了。令和6年1月～2月にかけて施設の名称を公募し、令和6年6月に「和歌の浦あしべ庵」に決定。令和6年9月に開館。「和歌の浦」の万葉の時代からの歴史的・文化的な価値を踏まえ、有識者へ意見を伺いながら既存建造物の文化財的価値を鑑みて整備を実施した。また、当施設は和歌の浦の歴史・文化の情報発信、観光案内、体験交流、滞在休憩の機能を備えた和歌の浦周遊の拠点となるような機能の充実を図った。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	オープンの際には、地元のNPO法人主催で施設全体を活用してオープン記念イベントが行われた。また、今年10月27日に開催された「和歌の聖地・和歌の浦誕生千三百年記念大祭」本祭では、当施設で小学生主催のマルシェイベントや地元NPO法人による関連イベントが開催された。当施設が今後も和歌の浦の歴史・文化の情報発信、観光案内、滞在休憩、体験交流ができる施設として幅広く利用いただけるように、活用方法等について検討していく。

状況を示す写真や資料等



母屋棟（屋根改修・外観修景工事完了）

駐車場

離れ棟（耐震改修等工事完了）

【スケジュール】

和歌の浦ガイダンス施設

進捗評価シート　（様式1-3）

評価軸3-24
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
博物館歴史展示・講座の実施	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成30年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業
計画に記載している内容	市立博物館において、和歌山城下町をはじめとする和歌山市の歴史に関する常設展示を行い、和歌山の魅力を伝えるとともに、春と夏に開催する企画展、秋に開催する特別展において、和歌山に関する特定のテーマについて掘り下げた展示を行い、和歌山の歴史の奥深さを紹介する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

和歌山の歴史的魅力を伝えるため、常設展示室内のコーナー展示において、「モチーフは源氏物語」「紀勢西線開業頃の紀三井寺駅柱時計」「描かれた和歌浦」など、和歌山に関する資料を展示したほか、企画展「陸奥宗光と和歌山」（7月～9月）、「大きい絵」（12月）などについての展示を行った。
また和歌の聖地和歌の浦・誕生千三百年に連携して「聖武天皇と紀伊国」（10～11月）を開催した。令和6年度入館者数：7,018人（令和5年度：9,099人）令和7年3月31日更新予定

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財の活用において、和歌山市立博物館、わかやま歴史館、和歌山城天守閣だけでなく、和歌山県立博物館、和歌山県立美術館、和歌山県立紀伊風土記の丘とも連携をとりつつ、市民に広く普及啓発活動をするとともに、和歌山市の文化や歴史等に対する認知度を高める。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

特別展「聖武天皇と紀伊国」入館者の様子

特別展「聖武天皇と紀伊国」シンポジウムの様子

評価軸3-25
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
和歌の浦の文化財説明板・まち歩き案内板設置	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和6年度
支援事業名	日本遺産魅力発信推進事業 社会資本整備総合交付金（都市再生整備計画事業）
計画に記載している内容	重点区域内の日本遺産の文化財や観光地に、来訪者を誘導する為の案内板や文化財の魅力を解説する説明板を設置する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度事業実績なし。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	和歌浦は神社仏閣をはじめとする文化財が点在しているが、持ち歩ける周遊マップが存在しておらず、現状では点と点がつながった線や面になっていないことから、周遊マップを作製する必要がある。

状況を示す写真や資料等

【（和歌浦地区）文化財・観光看板　年次計画】
平成29年度：文化財説明板9基、観光案内板11基
平成30年度：観光案内板1基
令和元年度：文化財説明版7基（3基は既存看板に取付）、観光案内板2基
令和6年以降：周遊マップ・周遊案内板設置予定

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸3-27
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
歴史・文化のプロモーション事業	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成29年度～令和9年度
支援事業名	市単独事業 文化遺産総合活用推進事業（地域文化遺産活性化事業） 日本遺産魅力発信推進事業（平成29年度～令和元年度）
計画に記載している内容	市民のみならず、市外や外国人来訪者等をもターゲットに据えて、歴史的風致を含めた地域の魅力を発信し、訪問や回遊、滞在行動へとつなげる事業を展開する。 特に、和歌の浦においては、日本遺産認定を契機に、和歌の浦の魅力を伝える人材を発掘・育成する事業を展開するとともに、普及啓発のためのイベント等を集中的に開催する。 ・日本遺産ガイドを養成するための講習会の開催 ・地域のキーマンとなる人材の掘り起こし、専門家による研修会の開催 ・シンポジウム及び構成文化財をめぐるウォークイベントの開催 ・日本遺産のストーリー・構成文化財の展示ブースの設置

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

和歌の浦のPRを兼ねた短歌ワークショップを実施。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	和歌の浦の歴史・文化を効果的にプロモーションするために、有効な事業を継続的に行っていく。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

和歌の聖地・和歌の浦 誕生千三百年記念大祭事業

進捗評価シート　　（様式1-3）

評価軸3-28
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
遺跡の普及・啓発	□実施済 ■実施中 □未着手

事業期間	平成25年度～令和9年度
支援事業名	地域の特色ある埋蔵文化財活用事業
計画に記載している内容	市内各所の発掘調査が行われた遺跡について、説明板設置とパンフレット作成を行い、普及啓発を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

発掘調査速報展パンフレット1,000部作成、配布
市民ギャラリー展示（発掘調査速報展）2回

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	広く普及啓発を進めるため、博物館・市役所等での遺物展示、現地での案内板・説明板やパンフレットでの周遊ルートの説明などを分かりやすくしていく。

状況を示す写真や資料等

ギャラリー展示

和歌山市埋蔵文化財発掘調査情報2024パンフレット

進捗評価シート　　（様式1-4）

評価軸4-1
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の保存に関する取り組み	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の指定・登録への取り組みが進むよう、大学他の研究機関や民間団体とも連携し、調査成果の共有を図るとともに、その価値が認められたものについては、保存管理や活用が図られるよう、計画的に修理・整備、防災対策等を実施する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

指定文化財修復補助事業としては名勝3件、美術工芸品2件、建造物1件がある。他に指定文化財管理補助事業として、国指定文化財4件がある。また、令和6年度市指定文化財として新たに5件を指定予定。1. 釈迦如来坐像・阿難尊者・迦葉尊者立像（彫刻・禅林寺）、2. 雲版（工芸・禅林寺）、3. 井辺遺跡出土遺物（考古・和歌山市）、4. 和歌山城跡出土地鎮具（考古・和歌山市）5. 和歌山城御橋廊下礎石（歴史資料・和歌山市）

文化財防火デー、文化財保護協調週間の啓発に努め、災害時にはその都度文化財被害状況調査を行っている。

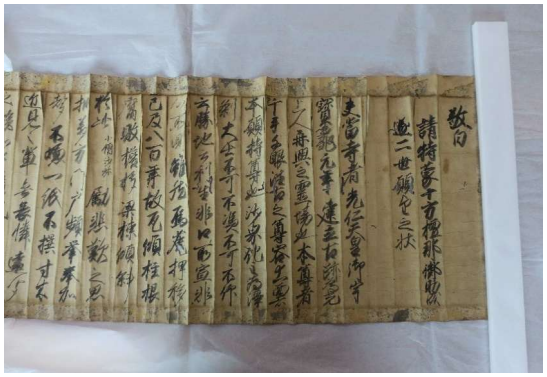
指定文化財の選定、指定文化財等保存修理、盗難被害防止を含めた未指定文化財の調査を進めることにより、市域全体の文化財の把握、維持管理、保存活用に寄与した。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	未指定文化財の調査を進めるとともに、指定文化財については所有者と連携し、文化財の適切な保護に努める。特に、文化財の適切な維持管理とともに防災・防犯の対策が進むよう指導・協力に努める。なお、継続的な調査における大学や外部研究機関の協力を得る必要がある。 文化財保護審議会に報告。

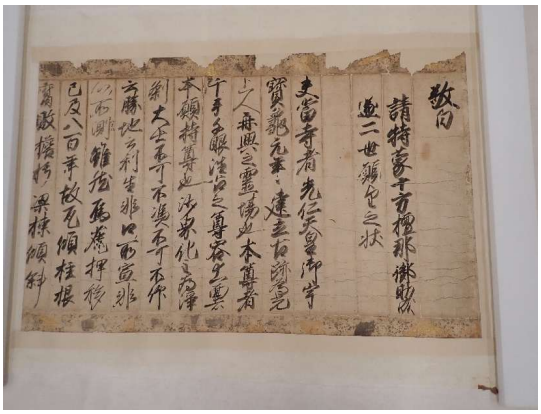
状況を示す写真や資料等

文化財の悉皆調査

市指定文化財修理における有識者との協議風景
（補彩の確認）



和歌山市指定文化財紀三井寺勧進状の修理（修理前）



和歌山市指定文化財紀三井寺勧進状の修理
（修理中　仮貼り・クリーニング後）

評価軸4-2
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
文化財の活用に関する取り組み	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	文化財の保存・活用を図るうえで、展示を行うための施設や、文化財を総合的に情報発信する拠点となる施設として、和歌山市立博物館、わかやま歴史館等があり、県施設（和歌山県立博物館等）とも連携し、市民への文化財への理解と保存又は活用に向けた気運の醸成を図る。 文化財の情報を一覧できる文化財ポータルサイトの運用、各種講座・講演会・シンポジウム等の開催等による普及・啓発を図る。また将来の担い手である子どもたちに対し、学校教育・社会教育とも連携した歴史学習の展開を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

令和6年度においては展示施設の活用では6施設の観覧者数合計204,677人（市立博物館：7,018人、わかやま歴史館：23,479人、和歌山城天守閣：169,259人、旧中筋家住宅：900人、湊御殿：2,910人、平井歴史資料室：1,111人）である。
※令和7年3月31日更新予定
歴史学習の展開では、小・中・高校への出張授業：2回（文化振興課・和歌山市立博物館）、博物館小・中学校・高校見学受入：12回、博物館支援学級受入：0回があった。
展示施設を拠点とするだけでなく、文化財担当職員（和歌山市立博物館・和歌山城整備企画課含む）による文化財の普及啓発を進めることにより、地域の歴史に根ざした魅力を発信することにつながった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	文化財の活用において、様々な階層への働きかけとそれに応じた普及啓発の方法を適宜検討し、文化財ポータルサイトと和歌山市立博物館のホームページを連動させる必要がある。 和歌山市立博物館やわかやま歴史館、和歌山城天守閣の展示をより来訪者の興味・関心を引く魅力的なものに継続的に更新していく。 【目標値】 展示施設の活用：6施設の観覧者数合計210千人（R6年度） 歴史学習の展開：合計10回（R6年度）

状況を示す写真や資料等

史跡散歩（建造物巡り　和歌山県庁）

史跡散歩（建造物巡り　史跡和歌山城岡口

進捗評価シート　（様式1-4）

評価軸4-3
文化財の保存又は活用に関する事項

評価対象年度	令和6年度
項目	現在の状況
埋蔵文化財の取扱いに関する取り組み	□実施済 ■実施中 □未着手

計画に記載している内容	埋蔵文化財包蔵地の状況を和歌山市埋蔵文化財包蔵地所在地図で公表し、遺跡保存についての協議や土木工事の際の手続きを明示し、遺跡の確認調査を実施している。また埋蔵文化財センターにより記録保存のための発掘調査を実施している。今後とも、上記に継続して取り組み、埋蔵文化財包蔵地においての届出等の徹底を図るとともに、文化財担当課の指導のもとでの保護を徹底する。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で*

埋蔵文化財の取り扱いについては、文化財保護法93・94条に基づく埋蔵文化財発掘の届出・通知に伴う調査として、立会調査62件　確認調査・本発掘調査28件を実施した。
埋蔵文化財の普及啓発としては、発掘調査速報展示（市民ギャラリー）を2回を実施、発掘調査情報パンフレット1,000部作成した。通常は地下に埋もれて実像がわかりにくい埋蔵文化財について、発掘調査成果の普及啓発等により、地域の歴史に根ざした魅力を発信することにつながった。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
■計画どおり進捗している □計画どおり進捗していない	埋蔵文化財（遺跡）は地下にあり実像がわかりにくいため、現地での案内や遺物の展示等でその時代の生活の様子等がわかるよう普及啓発を進めていく。 文化財保護審議会に報告。

状況を示す写真や資料等

津秦遺跡の発掘調査

上：発掘調査の現地説明会風景

下：井戸から出土した土器

評価軸5-1
効果・影響等に関する報道

評価対象年度	令和6年度

報道等タイトル	年月日	掲載紙等
和歌の浦誕生1300年　この秋、新たな祭りが開催	令和6年9月21日	リビング和歌山
和歌の浦　集いの「あしべ庵」	令和6年9月29日	読売新聞
「和歌の浦あしべ庵」完成　聖地誕生1300年、魅力発信の拠点	令和6年9月30日	和歌山新報
名勝・和歌の浦の魅力発信へ　「あしべ庵」オープン	令和6年9月30日	産経新聞
〈詩歌の風情〉「和歌の浦あしべ庵」がオープン	令和6年10月10日	聖教新聞
発信！わがまち　地域をもっと元気に豊かに！新スポット　和歌の浦あしべ庵	令和6年12月1日	歴史街道

定性的・定量的評価（自由記述）　*※定量的評価は可能な範囲で*

和歌山市歴史的風致維持向上計画の認定や計画に基づき実施する事業に関することについて報道されている。これらの報道を通して、和歌山市の歴史まちづくりに関する取組、歴史的風致について関心、認識が高まり、普及啓発となっている。

進捗状況　*※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

評価軸6-1
その他（効果等）

評価対象年度	令和6年度

項目

歴史的風致の情報発信と認識向上

計画に記載している内容	歴史的風致について、市民等に積極的に公開する機会を通じて普及啓発を図る。また、地域の歴史や文化、伝統、価値に関する理解や周知が十分でないこと等から、パンフレットや冊子、ホームページや動画コンテンツ等を作成し、認識の向上を図る。

定性的・定量的評価（自由記述） *※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付*

平成30年11月24日より歴まちカードの配布を開始。平成30年度から36,690枚を配布し、市民及び来訪者に広く歴史的風致をPRすることができた。

進捗状況 *※計画年次との対応*	実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし	

状況を示す写真や資料等

歴史まちづくりカード（表面）

歴史まちづくりカード

【認定概要】
認 定 都 市：和歌山県和歌山市
認定年月日：2018年3月26日
重点区域の名称及び面積：和歌の浦区域（384ha）

【写真の紹介】
●江戸時代から続く紀州東照宮例大祭「和歌祭」
万葉のころより、美しい景勝で名高く、その情景を歌に詠われ、和歌の聖地となった日本遺産「和歌の浦」。
江戸時代より約400年続く紀州東照宮の和歌祭は、和歌の浦の景勝をあらわす要素が随所に盛り込まれ、町並みや和歌浦湾を背景に和歌浦一帯を練り歩きます。

【歴まちスポット】
●和歌の浦・不老橋　●玉津島神社・鹽竈神社
●紀州東照宮　●和歌浦天満神社
●多田家住宅・和田家住宅・梅本家住宅　●御手洗池
●妹背山海禅院多宝塔・観海閣・三断橋・あしべ屋妹背別荘

【webサイト】
http://www.kkr.mlit.go.jp/kensei/town/rekimachi/index.card.html
近畿地方の歴史まちづくりカード配布場所等を掲載しているほか、近畿歴史まちづくりサミットや、歴史まちづくり法に基づく各認定都市の取り組み等を紹介した「歴まち」情報サイトにもリンクしています。

歴史まちづくりカード（裏面）

法定協議会等におけるコメント

（様式2）

評価対象年度	令和6年度

・法定協議会等におけるコメント

コメントが出された会議等の名称　：　和歌山市歴史的風致維持向上計画推進協議会

会議等の開催日時　：　令和7年2月7日（金）　14時00分から15時30分まで

（コメントの概要）

・歴史的風致維持向上支援法人への活動支援について、清掃活動の補助支援をすることで、重点区域内の歴史的建造物やまちなみがきれいな状態に保たれるとともに、清掃活動に地元の企業や子どもたちが一緒に参加することで、景観保護に対する意識の向上に寄与している。

・和歌の浦の活性化に資するイベントに対して補助支援をすることで、和歌の浦あしべ庵の施設等を活用したイベントが開催され、和歌の浦を盛り上げるイベント等活動の推進に対して一定の効果が見られた。

・奠供山は万葉集にも詠われた和歌浦本来の風情を現在でも眺望できる場であり、奠供山をはじめとする和歌の浦あしべ庵周辺の伽羅岩も、万葉集で詠われた荒磯を想起させる風情をよく残している。和歌の浦あしべ庵は、昭和初期の数寄者でもあった福島嘉六郎により造られた別業であり、奠供山を借景とする庭を伴う。このような、旧福島嘉六郎邸を和歌の浦の周遊の拠点となる施設「和歌の浦あしべ庵」として修繕・整備したことで、和歌の浦を訪れる方が気軽に立ち寄り、滞在しやすい環境を整えることができた。また、施設の来歴を説明した看板を設置することで、来訪者の和歌の浦に対する理解を促すとともに、お茶会や朗読会など様々な人に幅広く活用してもらえる場所を整備することができた。今後様々な用途で活用してもらえるよう、施設の利活用に関する方向性や施設のPR等について検討を続けていく。

・和歌祭の巡行経路である和歌浦口雑賀崎線における無電柱化や道路美装化により、歴史・文化を生かした景観の向上に寄与する。

・国の名勝和歌の浦において、文化庁の補助対象外の事業についても、歴まちの補助金を活用して修理・整備することができた。

（今後の対応方針）

・事業によっては、地元や有識者等の意見等を事前に取り入れながら進めていく。また、関連する事業は所管課が連携して進めていく。

・数値評価については、目標値を達成できるように取り組んでいく。